

学級(ホームルーム)経営と授業づくり

私の考えを皆さんの学級(ホームルーム)・授業と擦り合わせてみてください。



名城大学大学院
大学・学校づくり研究科 曾山和彦

2016.6.2

よりよい学級づくりがすべての教育課題を解決する!

今、私の思いを「強め」に言うならば



- 「学力の秋田！」(学習指導)
- 「秋田わか杉っ子学びの十ヶ条」(生徒指導)

秋田県教委指導主事・管理主事として在職していたため、学校現場の状況はよくわかります

- 「気になる子が溶けこむ授業」(特別支援教育)

「クローズアップ現代」にて紹介された山郷小、その実践を継ぐ員弁東小の両校にかかわり、成果を目の当たりにしています

子どもが笑顔になる学級は、保護者もまた笑顔に!

学級経営の定義 (吉田・大森)

- 学級担任が学習指導と生徒指導の両面にわたり、

現代は特別支援教育も加えて



その教育機能を十分に発揮できるように、学級における様々な条件整備を行うこと

学級担任制(小)、教科担任制(中、高)ともに、担任は必ず学級経営に携わることになる

3

学級担任が行う主な条件整備

1. 学級目標づくり
2. 学級(集団)づくり
3. 教室環境づくり
4. 保護者との関係づくり
5. 地域との関係づくり
6. 学級事務

学級づくりは「居場所づくり」
縦系&横系を紡ぎ「機を織る」

学級という「機」は今、どのくらい織り上がってきましたか?



4

現代の子ども像と支援の基本方針

「どうせ」「うざい、死ね!」



- 自分にOKと言えなければ、他者には尚更OKとは言えない、自分を大切にできなければ他者は尚更大切にできない

自尊感情(自己評価の感情)を育もう!

- 他者とかかわる技術・コツがなければ他者を大切にできない

ソーシャルスキルを育もう!

家庭、地域の教育力が以前に比べ、くっつ落ちています

気になる子が昔以上に気になる理由の一つがここにあります

キーワードは自尊感情とソーシャルスキル
どちらもかかわりの中でしか育たない
人が人になるには人が必要



学校存在の意義がここにある!

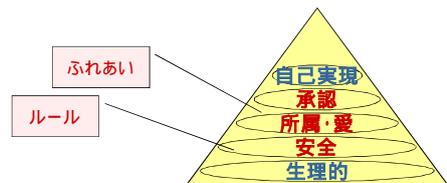
5

学級づくり2条件と理論ベース

よりよい学級をつくりたい!



- 「居場所」の2条件(園分、河村)・「ルール」と「ふれあい(リレーション)」
- A. マズローの階層説が「居場所」の理論ベース



だから、まずは「ルール」!

6

ルールづくりは「2本のアンテナ」で!

「話を聴く」というルールならば

- **を見逃さないアンテナによる感知&対応**
 - ・対決 メッセージ;
 - ・対決 メッセージ;
 - ・「」の問いかけ;
- **を見逃さないアンテナによる感知&対応**
 - ・肯定 メッセージ;
 - ・肯定 メッセージ;
 - ・ 提示;

年齢、発達段階、障害特性への留意が必要!

年齢・発達段階 & 障害特性への配慮とは

伝わるように言葉をかけましょう!

- 私たちがよく使う「褒め言葉 & 注意」はどのような子どもに効く・効かないのか?
「境」は10歳or **思春期**
- 子どもは褒めれば育つのか?
「境」以降はなじまない。「落とし穴」もあり!

「大揺れの船(思春期)」から、子どもが海に投げ出された時、泳いで行く・浮き輪を投げる等、助けられる大人に!

知識・理論・技法 ← お勧め! アイメッセージ & 勇気づけ

自閉症(ASD)の子どもに「ルールを教える」際の配慮とは?

気になる子の理解

~今や知らないでは済まされない!~

特別支援教育
スタートから 年

- **ユニバーサルな保育・教育のために、発達障害の可能性のある子の理解は欠かせない**

% (2002) % (2012)
* 文科省調査

- 「I think」の前には**理論が必要**(国分)
・障害理解 & 支援の基本理論をおさえてはじめて、個に応じた具体的支援が見えてくる

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法 2013.6月成立)

- 差別的取扱いの禁止(法定義務)
- **合理的配慮**不提供の禁止(国・地方公共団体等は法定義務)

基礎的環境整備のもとに

2016.4月施行

特に、学校生活の様々な場面における「合理的配慮」に関する校内整備が必要。保護者の声に応えるために...

ASDへの支援の「王道」

気になる子の理解は不可欠
そこから見える支援の「王道」

- 視覚情報の活用 フォトグラフィックメモリー
- 一度にひとつ 短期記憶の弱さ
- 予定の伝達 見通しのもちにくさ
- 肯定的表現 苦手な禁止、注意
- **文化に寄り添う**

感覚の過敏性
(例) 触覚、聴覚、視覚、嗅覚、味覚等
字義性
(例) 真っ直ぐ家に帰るのよ あその角を曲がらないと帰れないよう~

拙著「気になる子への支援のワザ」(教育開発研究所)に事例がたっぷり

ふれあいづくりは「縦と横の糸」を織る

- はじめは「**細い糸**」(ラポート)を紡ぎ、少しずつ「**太い糸**」(リレーション)に紡いでいく

・ラポート(ラポール); プラスとプラスの感情交流
・リレーション(ふれあい、ホンネの関係); プラスもマイナスも含めた感情交流

我が師、国分康孝先生定義

教師と子どもの「縦系」を織るワザ

主に自尊感情へのアプローチ

□ 「君、さん」と名前を呼ぶ

高校の体育の先生がある子たちのことは下の名前呼び、私や他の人は苗字で呼んでいた。その時点で、私はその先生のことを嫌だと思っていた。<教職課程履修 人間学部2年女子学生の声>

□ 子どもの「長所」や「好き・得意なこと」等を使い、褒める・勇気づける・認める

大好きだったなあ、「ハングル少年」のA君

関係づくりの第一歩は相手への関心から

13

子ども同士の「横系」を織るワザ

主にソーシャルスキルへのアプローチ

□ 短時間&ゲーム感覚で楽しめるグループアプローチを活用する

ふれあいづくりの「花火を打ち上げる」&「火を灯し続ける」

お薦め演習「アドジャン」

学校生活の様々な場面でスキルの強化&般化

配付資料 hito*yume20号

秀逸！愛知県刈谷市立佐佐美中学校の実践

14

ソーシャルスキル・トレーニング(SST; social skill training) ~教えることがなじむ技法~

□ SSTは行動の教育

＜基本展開＞
1. インストラクション(言語指示)
2. モデリング(示範)
3. リハーサル(実行)
4. フィードバック(評価)

ねらい; 挨拶、話の仕方()です)、話の聴き方(頷き、視線、表情等)

15

構成的グループ・エンカウンター(SGE; structured group encounter) ~教えることがなじまない技法~

SGEは感情の教育

「 に気づいた、 を感じた」等、個々の気づきをうながす。

ねらい; 自他理解

16

「居場所」の中で気になる子が授業に溶け込む

目指しましょう!

気になる子が溶け込む授業づくり

授業のユニバーサル化
*「授業のしかけ」(教育開発研究所)参照

□ 1 指示1動作&リズムとテンポ(山郷小) 2009年「クローズアップ現代」にて紹介

学童期は「知識生活時代」。環境さえ整えば、学びが楽しくて仕方ない段階にある。まさに、そうした子どもたちの姿あり

□ ユニットとルーティン(員弁東小) 私の中でのベスト1
A男を支える周りの友だちの力は教師一人の支援をはるかに超える

17

和具中の実践に学ぶ ~ 授業スタイルの統一 ~

□ 1. 目標の提示、学習課題の提示、基礎・基本の確認

□ 2. 個人追求(自分一人で考える・やってみる・活動する時間)

□ 3. 「磨き合い」;ペア・グループから全体へつなげていく活動(仲間とかかわりながら考えを出し合い深め合い、高め合う活動の時間)

□ 4. 振り返り(まとめ・定着・確認)

18

和具中教師の声 & 成果につながったポイント

授業スタイルの統一により、生徒が落ち着いて学習に臨むようになった / 授業のはじめに「目標提示」、最後に「振り返り」があり、生徒が目的をもって1時間の授業に臨むようになってきた / グループ学習継続により、授業中の話し合いに慣れてきた / 「磨き合い」の中で、わからないことを気軽に聞いたり、根気よく説明したりする姿が見られるようになってきた 等

<成果につながったポイント>

- ・ルーティンの導入
- ・視覚情報の活用
- ・ペア・グループ活動の導入

やはり、ポイントは山郷小、員弁東小と似ています



授業のユニバーサル化は大学講義でも必要 & 有効

19

まとめ;今日のPOCKET

(外山滋比古 「思考の整理学」より)



20

主な参考文献

- 「自閉症だった私へ」、ドナ・ウィリアムズ、新潮文庫
- 「アスペルガー症候群と高機能自閉症の理解とサポート」、杉山登志郎、学研
- 「親業」、トマス・ゴードン、サイマル出版
- 「時々、「オニの心」が出る子どもにアプローチ学校がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書
- 「気になる子への支援のワザ」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「気になる子が溶け込む授業のしかけ」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「気になる子の保護者への支援術」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「子どもに学んだ “王道” ステップン・ツースリー」、曾山和彦、文溪堂

特別支援に関する私の考えの全ては「王道ステップ」にまとめました!



HP;「KAZU・和・POCKET」

21

参考

自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder)

2領域(社会的コミュニケーションの制限、反復性の行動・興味)における軽度(L1)～重度(L3)の能力低下という連続体を示す障害 (DSM- 日本語版 2014年5月発刊)

PDD (広汎性発達障害)

* 社会性、コミュニケーション、想像力の弱さ

- ・自閉性障害 (*この中で知的な遅れを伴わない者が「高機能自閉症」)
- ・レット障害
- ・小児期崩壊性障害
- ・アスペルガー障害
- ・特定不能PDD (*非定型自閉症と同義)

DSM- ではPDDの診断名



22

参考

基礎的環境整備と合理的配慮の項目

- 基礎的環境整備8項目 国、都道府県、市町村

「専門性のある指導体制の確保」、「専門性のある教員、支援員等の人的配置」、「施設・設備の整備」、「交流及び共同学習の推進」 等

- 合理的配慮3観点11項目 学校の設置者、学校

1. 教育内容・教育方法; 「学習上または生活上の困難を改善・克服するための配慮」、「心理面・健康面の配慮」 等

2. 支援体制; 「専門性のある指導体制の整備」、「災害時等の支援体制の整備」 等

3. 施設・設備; 「校内環境のバリアフリー化」 等

23

参考



実践事例データベース活用を!



24

参考

【王道】ステップワン・ツー・スリーⅡ

依佐美中実践の全てがここに！

25

参考

【知能】大岡 事件 教員養成講座

合理的配慮を学ぶならこれ！

26